

保育所増設と役場建て替えを両立させる「解決策」はある!

○保育施設は今後2年で440人分整備

今後、2か所の民間認定こども園で350人分、第四保育所新築で90人分の保育施設が2021年度までに整備されます。役場建て替えと時期が重なりますが、役場の方は国の支援メニューがあり、認定子ども園は国の補助対象となる「民間による整備」が中心です。町負担は最低限に抑えて進められています。

○保育無償化で新たな「余剰財源」

「無償化」により、国の高い保育料を下げるため自治体が長年出し続けた補助が不要になります。

○清掃工場の毎年1億円改修費にメスを

12月議会の一般質問で、他会派・議員からも、1炉運転に縮小し保守点検・維持管理費用の大幅削減、1トンあたりのごみ処理費用の見直しを、など提案がありました。当然の流れであり、町は本格的な検討を始めるべきです。

かわの町議は、「府内でただ一つの8時間運転・2炉焼却」問題、炉に使用する高額な耐火煉瓦3400個を交換するなど、毎年1億円以上の改修費をかけている実態を明らかにしました。「ゴミ減量」と「連続運転への見直し」こそ急ぐべきと主張しました。

「名水百選のまち」水道ビジョン策定は 議会・住民論議で

○国は「広域化推進」を言う前に「水道基盤整備」に向けた自治体支援こそ急ぐべき

全国的に技術職員の不足や、水道管の老朽化対策、耐震化などの課題があります。「水道ビジョン」策定では、修繕計画や事業費用、料金なども検討の対象になります。

○「広域化」した町の水道はバラ色?

… どころではありません!

府内町村はすべて「広域水道企業団」に統合しているか、統合に手をあげているため、「ビジョン」づくりは企業団に委ねています。

太子町では、統合により水道会計は廃止され、元々急がれていた「老朽管の更新」がいまだ予定も示されず。太子町議会から「広域水道事業

団」に説明を求めています。半年以上たった今、説明すら受けていない状態です。

○「島本町民憲章」は 水と緑の美しい町づくりが一番に明記

議会は、ビジョン策定に向けてくわしく報告を受け検討調査し、住民の意見を反映することに力を尽くすべきです。また、国に対しては水道基盤強化を市町村任せにせず、耐震化支援をさせるよう声をあげていくことが求められています。



維新の吉村知事が大阪市長時代に提案、意欲を示していた「水道民営化」には断固反対です。住民の大切な「命の水」を商売にするなど言語同断です。

12月議会★一般質問で求めました

災害弱者 安心の避難所へ 小中学校体育館の改善を



○避難所のテレビ設置は高齢者向けの情報提供に必要です。2015年に党議員団の質問を受け、テレビは購入済みです。学校現場との共有や実際の活用が必要だと求めました。

○エアコン設置を! 部活動・一般貸出時の熱中症対策にも必要です。

○重度障がい児者の被災状況に応じ、福祉機器用電源に発電機(現在15台)の提供を求めました。

町会議員 かわの恵子ブログ



2月予算議会…公約実現へ…一般質問・ 予算大綱質疑などで取り組みます

(前半本会議：2月27日～3月4日の予定)

- マンションへの支援策・相談体制充実を
- 開発指導要綱の実効性を高めよう
- 国保基金の多額の積立金は、保険料引下げ・健診など保険事業の充実に活かそう など

日本共産党 町政こんだん会

2月16日(日) 午後 1:30 ~ 3:30

ふれあいセンター 3階 視聴覚室

申込み先 河野 090-7113-2234